

# Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol.32  
2024 SUMMER

MyEditを使用して制作したAI生成画像です



インタビュー対談

『職場の安全対策』

矢作ビル&ライフ株式会社 代表取締役社長 林 敏之様



矢作ビル&ライフ株式会社  
代表取締役社長

**林 敏之様**



ユタコロジー株式会社  
代表取締役

**酒井 秀京**

テーマ

# 職場の 安全対策



矢作ビル&ライフ株式会社  
www.yahagibl.co.jp



2024年問題(働き方改革関連法への対応)や2025年問題(高齢者増加による人手不足)により  
“働く”という価値観が大きく変化し、「働く人」が多様化している現代において、  
【職場の安全対策】をテーマに矢作ビル&ライフ株式会社 代表取締役社長 林敏之様にお話を伺いました。

## 「安全」に対する責任感が重要

**酒井** この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございました。

2024年問題や2025年問題が新聞やNEWSを賑わしている昨今、これはつまり働く人が多様化することで老若男女、国籍や文化を問わずに仕事ができる仕組みを作っていかなければならないと考えております。

その意味で、変化の中にある安全、そして安全対策については是非お話を伺いたいと思いインタビューの時間を頂戴しました。

**林** そうですね。例えば当社では新卒の若手から中途、グループ企業からの出向など様々なキャリアの社員が在籍していることから、自社のルールを明確に理解してもらうための教育・研修を行っており、中でも「5分前行動」を大切にしています。現場作業や立ち会いもそうですが、会議に参加するときなども含めてすべての仕事において5分前行動を意識することで、いまから自分が行う仕事の段取りを落ち着いて整理することができます。このちょっとした余裕を持ちながら仕事に取り組むことが安全にも繋がると考えています。

**酒井** 余裕がない中での仕事は不安全はもちろんのこと、品質にも影響するということですね。

働く人が多様化する中での安全啓発のポイントにはどのようなものがあるでしょうか。

**林** 建設業においては不安全な行動が自分自身はもちろんのこと、同僚や協力会社、さらにはお客様の命をも危険にさらしてしまう恐れがあります。そのため、安全第一であることの本当の意味での大

切さを日頃から何度も何度も共有し、そのためにどのようなルールがあるかということを根本から理解していただく必要があるのではないのでしょうか。これを繰り返し徹底していくことで、真に老若男女、国籍問わず多くの方に活躍いただけるのだと考えています。

## 専門家としての地震対策

**酒井** 愛知県は南海トラフ大地震の甚大な被害が想定されています。貴社は建物の耐震補強施工も強みとされていますが、専門家から見た企業としての備えの現状は率直にいかがでしょうか。

**林** まず、我々矢作建設グループは中部地区最大級の実験施設「エンジニアリングセンター(旧地震工学技術研究所)」を保有しており、耐震技術を含む建設のさまざまな検証実験を行っているため、地



▲「ビタコラム工法」(左)と「ウッドビタ工法」(右)施工例

ともに現在の建物をそのまま活用し、外部作業だけで耐震補強が完了する工法。内部工事が無いため引っ越しや休業の心配がなく、居住者に与える工事の影響が少ない。



震に対して非常に高い危機意識を有していると自負しています。阪神淡路大震災の経験から2006年に誕生した本施設の研究から「ビタコラム工法」「ウッドビタ工法」といった耐震補強の特許技術を生み出しました。先の能登半島地震においては、矢作建設の耐震補強工法で補強した建物が倒壊しなかったこともあり、耐震補強に関する新たなお問い合わせも増加しています。

そのような実績をもとに愛知県の現状をみると、例えば東京都と比べると地震への備えが進んでいないと感じます。

**酒井** 具体的にはどのようなものでしょうか。

**林** 特に愛知県の課題として感じるのは、緊急輸送道路や避難路の整備です。緊急時に災害物資輸送に使用する道路の耐震化が進んでいなかったり、木造家屋が密集している地域では建物倒壊だけでなく避難路の確保ができていない地域があったりします。これらは自治体の管轄ですので期待して待つしかないのですが、企業や個人宅で言えば、補助金活用の認知度が低いから耐震補強の準備が進んでいないと思います。このエリアでは、震度4以上の地震がここ20年で数えるほどしか起きていないこともあり、地震に関するリスクで言うと東京都と比べて温度感が低く感じています。

**酒井** なるほど。古い建物が多いこともあるとは思いますが、今一度、有事の際のリスクを真剣に考える必要がありますね。

## 新しい世代にも活躍を

**酒井** 最後に、我々は今年からWell-beingをキーワードに2030ビジョンを掲げています。

貴社でのWell-beingな取組みがあればご教示ください。

**林** 最近の取り組みとしては、4年前から「若手中堅社員研修」というものを発足しました。ももとは社内研修プログラムを45歳以下の社員を対象に企画していたのですが、部門間の垣根を超えたコミュニケーションを活発に行ってほしいという想いから、研修とは



▲若手・中堅社員研修(第3回)の様子

別にレクリエーションの企画運営や今後の会社に求めることなど、幅広く「会社」にかかわるテーマを議論してもらう場を設けるようになりました。

**酒井** 面白い取り組みでいらっしゃいますね。どのような効果があったのでしょうか。

**林** 部門間の垣根を超えたコミュニケーションはもちろんのこと、年齢を区切り、小単位のグループ討議形式で積極的な発言ができるようにしたことで、次世代のリーダーになってくれる期待が持てる社員がいることを経営層が認識できるようになりました。また、例えば「10年後の会社はどうあるべきか」などのテーマを議論してもらうことで、参加している社員みなに会社に対するエンゲージメントを強くする契機になっているとも感じています。

**酒井** 会社に積極的にかかわれている実感がもて、それを評価して貰えることと社員の幸福感には密接な関係があることがWell-beingの研究でも明らかになっているようです。また、貴社社員方々の心の安全という面でも大きな効果があるのですね。

多岐にわたり、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。

## ～対談を終えて～

「職場の安全」と一口に言えど、社員教育の在り方や会社との接点創出など多くの工夫をされていることを改めて勉強させていただきました。また、地震とビルメンテナンスは密接な関係であるからこそ建物の安全も職場の安全に直結することも再確認することができました。ご縁に感謝いたします。ありがとうございました。



# ユタコロジー 事故 & 異常発見 & クレーム報告

【2023年12月～2024年5月分】

ユタコロジーは快適空間の創造×環境改善の見える化×SDGsでつながる事業を行っております。  
環境改善の見える化のため、当社の発生事例をご報告いたします。

発生月	内 容	概 要
2023年 12月	車両事故(当方被害者)	作業車で信号待ちをしていた際に、後方から追突された。
2024年 1月	お客様からのクレーム	日常清掃時、施設利用者が座っていたテーブルの紙をゴミと間違え回収・破棄してしまった。
2月	お客様の施設・備品破損	定期清掃時、お客様施設の照明交換を行った際に、照明カバーに器具を当ててしまい破損させてしまった。
	お客様の施設・備品破損	定期清掃時、お客様施設の床磨き作業を行った際に、パフイングマシンが床の凸部分に当たり破損させてしまった。
	労働災害	日常清掃時、ホースが水圧で暴れてしまい、リールの先端が目当たった。
4月	労働災害	日常清掃時、お客様施設内の1cm程度の段差に躓き、転倒。顔と手首を強打した。
5月	お客様からのクレーム	定期清掃時、お客様施設の水道を使用した際に、蛇口が完全に閉まっておらず、少しの間水が垂れ流しとなってしまった。
	お客様の施設・備品破損	日常清掃時、お客様施設の壁に強風で煽られた清掃カートが激突。壁面に傷が出来てしまった。
	お客様の施設・備品破損	日常清掃クレーンが使用するためにお借りしていたロッカーの鍵を紛失してしまった。

## SDS・リスクアセスメントについて

2022年2月、5月の労働安全衛生法改正により、アセトニトリルやアセトアルデヒド等の化学物質を含む製品等を製造、使用又は譲渡提供する事業者においては、令和6年度から、業種・事業規模を問わず、化学物質管理者の選任やリスクアセスメントの結果に基づき、ばく露を最小限とすること等が義務付けられました。

当社でも日常、定期清掃作業で使用する製品の保管方法と使用時の安全対策を再確認しました。講習への参加などを通じて最適な環境で作業を行えるよう、引き続き安全対策を行ってまいります。

お客様のWell-beingの根幹を担う当社として、快適空間創造と事故ゼロを目指し、改善に努めてまいります。  
引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

# 業務グループ アップデート

## ▶ お客様施設の床面高圧洗浄作業を実施しました

### 【注意点1】

タイルが割れている箇所や脆くなっている箇所について、集中的に放水してしまうと更なる割れや剥がれに繋がってしまうため、慎重に作業を行いました。



カビや藻、泥の除去に非常に有効ですので、美観維持にぜひご検討くださいませ。

### 【注意点2】

作業現場が一般車両や通行人が通る道に面していたため、監視員を配置し安全に作業を行いました。



## ▶ 好評です! YouTube社員教育動画

### 業務グループ主任 阿知波弘幸が出演!

#36「洗面台清掃」の動画から撮影に参加しました。

動画撮影にあたって作業説明のために手順を1つずつ分解し「なぜそのような方法・手順になっているのか」を認識していきますが、ユタコロジーのノウハウの源流を辿っていく非常に勉強になる作業でした。

動画をご覧いただくことで、基本に立ち返り、安全と品質を両立させる一助になればと思います。

日常清掃の作業は、業務Gは普段行わない作業ではありますが、クルーさんのお手本になりながらも、見やすく面白い動画になるよう撮影に臨んでいきます。



ユタコロジーYouTubeチャンネル、ぜひご覧ください

#1	【2022年11月1日】ユタコロジー第63回創業記念日_酒井社長講和	#19	【教育動画】社内公募のお礼と自転車違反について
#2	【2023年】コラボカレンダー制作報告	#20	【教育動画】いざという時の為に!防災訓練について
#3	【2023年】テーマ発表	#21	【教育動画】当社のミッションがどのように広がっています
#4	【ユタコロジー×仏教】仏教からみる清掃の仕事とは?	#22	【教育動画】色んな人たちが活躍できるような環境づくりについて
#5	【ユタコロジー×安全】この「安全」がわかると仕事が楽しくなる!	#23	【教育動画】社外報について『Continue vol.29』
#6	【ユタコロジー×防災】大地震に備えてほしい2つのポイント	#24	【教育動画】ユタコロジー第64回創業記念日_酒井社長講和
#7	【あなたは知ってる? 雑巾の雑学】雑巾の歴史と豆知識を語ってみた!	#25	【教育動画】拭き掃除のやり方
#8	【新型コロナウイルス感染対策】2023年3月 ユタコロジー	#26	【教育動画】掃き掃除のやり方
#9	【ユタコロジーの歴史】新しく定められた当社のミッション! 歴史を振り返ればその意味が解る!	#27	【教育動画】2023年の振り返り
#10	【ユタコロジー×安全】1件の重大事故の影に300件のヒヤリがある?!	#28	【教育動画】2024年のテーマ発表と社外報について
#11	【ユタコロジー 教育動画】社員・クルーの笑顔レッスン	#29	【教育動画】モップを用いた掃き掃除のやり方
#12	【教育動画】お辞儀レッスン	#30	【教育動画】カーペットの染み抜きについて
#13	【教育動画】再確認で安全に!安全3大運動	#31	【教育動画】経営計画発表会について
#14	【教育動画】急いでいる時こそ安全に!自転車の交通安全	#32	【教育動画】社外報『Continue vol.31』
#15	【教育動画】最初が肝心!熱中症の対処法	#33	【教育動画】ユタコロジーの理念と安全についてのお願い
#16	【教育動画】ユタコロジーの重要催事『安全宣言の日』について	#34	【教育動画】定額減税と勤怠システム導入にあたっての連絡事項
#17	【教育動画】社外報に込めている思い『Continue vol.28』	#35	【教育動画】ユタコロジーの考える「Well-being」について
#18	【教育動画】仕事の基本!改めて学ぶ5S活動	#36	【教育動画】トイレ清掃シリーズ第1弾 ~洗面台清掃編~
		#37	【教育動画】安全のために!ロコトレで足腰を鍛えましょう!



空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。  
Well-Beingな取り組みをお知らせいたします。

## 「2023年度災害支援セミナー」へ 参加しました

前号でも発信したとおり、2024年1月30日、(一社)愛知ビルメンテナンス協会主催の災害支援セミナーへ参加し、遠くない未来に必ず発生するとされている南海トラフ巨大地震への備えを学習してきました。

名古屋市港防災センター

住所:名古屋市港区港明  
1-12-20  
TEL:052-651-1100



### REPORT 1 防災体験【災害疑似体験】

#### ■地震体験

地震体験機を使用して、日本全国で過去に起こった震度7の地震の揺れと、地震の後に取るべき行動について体験することができます。(約20分)

#### ■伊勢湾台風展示室

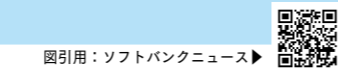
伊勢湾台風当時の映像視聴と風水害への注意事項が学習できます。(約10分)

#### ■3Dシアター

南海トラフ巨大地震の津波被害想定について映像で学びます。(約10分)

#### ■煙避難体験

煙避難体験室を使用して、火災時の煙の怖さと適切な避難行動を学びます。(約20分)



図引用:ソフトバンクニュース▶



▲震度7は、低い姿勢をとっていても成人男性に強く体を揺すられるような衝撃がありました。  
図のような姿勢をとり、頭は床から離して揺れが納まるのを待つ必要があります!

### REPORT 2 特別講座【ワークショップ(工作)】

#### ■新聞スリッパ

足を守るためや衛生を保つため避難所生活でスリッパが活躍します。

新聞スリッパの作り方を学ぶことができます。(約20分)



広げた新聞を足が入る形に折っていきます。片足分を作るのに1-2分程度でした。(写真①~③)作成したスリッパを履いて足つぼマットの上に乗ってみました。(写真④)何度か折っただけのたただの新聞紙ですが、突起物をほぼ感じないくらいに保護出来ることがわかりました!

実際の災害時は洗濯に困ることもあり、靴や靴下のカバーとして活用することも出来ます。



▲館内には、過去実際に使用されていた消防車やヘリコプター、消防服の現物展示や企画展示などもありました。



▲非常持出品や備蓄品の一例展示。水や非常食だけでなく、衛生用品や持病の薬、小さいお子さんのいる家庭では粉ミルクの準備も必要であることが学べました。

見学・体験  
を通して



毎年9月の第一営業日に防災訓練を行っていますが、震度7の揺れは想像していたよりもずっと強い衝撃があり、訓練だとわかっていても恐怖を感じるほどでした。また、well-beingを掲げる当社としては、老若男女にあわせて防災グッズの中身をもう一度精査する必要性も大きく感じる事が出来ました。BCPや防災の観点から社員、地域、お客様から安心されるユタコロジーを目指していこうと改めて決意する機会となりました。

総務部 部長 久米明日樹

### 産学連携プロジェクト2023完了報告

4月15日~19日にかけて、産学連携プロジェクト2023で制作した就活応援マガジンを配布しました。

協働した現4年生ゼミ生が、椋山女学園大学星ヶ丘キャンパスと日進キャンパスに在籍している新3年生約1,000名に対し、キャリア支援セミナーの開催に併せて「プロジェクトを経ての気づき」をスピーチするとともに、マガジンを直接配布してくれました。



### プロジェクト2023協賛協力企業一覧

※50音順

株式会社  
アフェクトホールディングス



株式会社  
上島総合経営事務所



株式会社  
ウェイストボックス



株式会社  
木曾路



コクネ製作  
株式会社



株式会社  
コメ兵



サンハウス食品  
株式会社



株式会社  
ジェイアール東海  
高島屋



セイフラインズ  
株式会社



株式会社  
ダイアナ



株式会社  
中日NEXT



名古屋市役所



鳴海製陶株式会社



株式会社  
ニッショー



野村證券  
株式会社



のらっこアセット  
英会話



株式会社  
パロマ



富士凸版印刷  
株式会社



未来工業株式会社



協賛・協力企業の皆様におかれましては、学生に学びの場をご提供・支援いただき感謝申し上げます。  
2024プロジェクトも既にスタートしております!  
学生の、そして本プロジェクトに関わってくださる皆様のwell-being実現へ寄与できるよう、今年も精一杯尽力してまいります。

愛知県ファミリー・  
フレンドリー企業に  
認定されました

ワークライフバランス推進企業として登録、認定されました。  
「建物とひとのキレイと健康」を目指し、これからも職場環境整備に力を入れてまいります。



▲ロゴマーク



## 新WEBサイト完成!!

年初に開催した経営計画発表会にて2030ビジョンを掲げた当社。  
新たなビジョンに向かっていくために、WEBサイトを一新しました。  
“今日よりも良いと思える明日を創る-Make Tomorrow Goes Better-”を合言葉に、建物と人のキレイと健康に寄与できるWell-beingな会社を目指してまいります。

※画像は開発中のものです。



経営理念「人々のために(誠実)=ブルー、技術を伝播し(挑戦)=オレンジ わくわく感を共創する(共感創造)=グリーン」の3つのコンセプトカラーがWell-beingによって明日へと続いていくことをイメージしたTOP画面ができました。当社にかかわってくださる企業様や一般生活者の皆様が今日、明日、明後日と、もっとワクワクしていけるサービス・商品を提供してまいります。



### ◎Let's Well-being

今回のWebサイト刷新において、最もこだわった取り組み発信ページです。ビル環境事業とWell-being事業、会社自身の取り組みはもちろんのこと、Well-beingをキーワードにかかわってくださるお客様のこともご紹介させていただき計画しております。

